

報告事項 1

令和 7 年度事業計画

地盤工学会は、公益社団法人として定款に定める「地盤工学の進歩および地盤工学に関わる技術者の資質向上を図り、学術・科学技術および文化の振興と社会の発展に寄与すること」を目的とし、これに基づいた公益事業を展開する。

学会員は、自らの専門性を高め、社会に貢献する意識のもと、本部・支部間の連携を強化し、学会活動を推進する。特に、頻発する自然災害への対応として、本部・支部が一体となり、他学会とも連携しながら調査・研究を積極的に実施するとともに、多様な形での情報発信を行い、市民にとって必要とされる学会を目指す。

また、学会が恒常的に実施してきた地盤工学会誌、地盤工学ジャーナル、Soils and Foundations の出版、年 1 回の研究発表会の開催などについても、さらなる魅力向上を図る。これらの活動を横断的に議論し、複合的な効果を得られるよう内容の充実化を進める。

研究発表会では、Web による参加・演題管理システムのさらなる活用を進め、運営の効率化を図る。また、支部関係者や関連学会の参加者に配慮し、オンラインを併用したハイブリッドセッションを取捨選別して実施することで、参加の多様性に対応する。同様に、講習会や研究委員会の開催形態もオンラインを併用する方向で定着化が進んでいる。これにより、支部主催の講習会や研究委員会にも他支部の会員が参加しやすくなり、本部・支部を通じたコンテンツの充実化を図ることで、会員サービスのさらなる向上を目指す。

令和 6 年度第 9 回理事会後に開催した本部支部懇談会では、本部・支部の予算執行状況や資産の現状について共通認識を持つことを目的とした意見交換が行われた。これを踏まえ、予算の効率的な執行による会員サービスの充実を図る。また本部支部懇談会は定例化し、本部と支部間の情報共有の場として活用する。

JGS 会館の維持・活用については、会長特別委員会である「中長期ビジョン 2023 検討委員会」でも指摘された重要課題である。これを受け、令和 7 年度より「JGS 会館利活用委員会（仮）」を立ち上げ、本格的な検討を開始する。

令和 6 年（2024 年）1 月 1 日に発生した能登半島地震への対応として、これまで緊急災害調査団が活動してきたが、今後は「災害調査委員会」へと移行する。さらに、「令和 6 年能登半島地震・豪雨災害調査報告書（仮）」を「災害調査論文報告集特別号」として発刊する予定であり、学会の研究成果を社会に還元する。

令和 7 年 4 月の公益法人法の改正を踏まえ、法令遵守を徹底し、改正内容への円滑な移行に注力する。

さらに、その対応として外部監事を選任するため、監事の定数の上限を2名から3名に増員し内部統制システムを強化する。加えて、公益事業の統合化を視野に入れ、事業区分の見直しなどの再構築を検討する。

今年度において実施が計画される事業について、公益目的事業の事業区分毎に以下に示す。

1. 公益出版事業【公1】

公益出版部：地盤工学会誌では、電子版の強みを活かしつつ、ニュース性の高い記事、記事と連動した動画コンテンツ、読み応えのある特集記事の発刊を継続する。また、「発信と内容の充実」アクションプランの実行を目指し、会員の多様なニーズに応えるサービスを行う。Soils and Foundations では、フルオープンアクセス化の効果の検証を継続しつつ、オープンデータの推進等を行い国際誌としての更なる地位向上を推進する。地盤工学ジャーナルでは、先進的な学術研究および設計・施工や災害調査に関する論文や報告等を幅広く掲載し会員サービスに努める。出版事業関係では、既刊本の販売促進に努めるとともに、社会のニーズにふまえ新刊企画を行い、会員ないし技術者への情報提供に努める。また、これまでの継続で絶版本等のアーカイブ化を進め、記録の適切な管理に努める。

北海道支部：「北海道の泥炭地盤の沈下と対策」、「寒冷地地盤工学」、「実務家のための火山灰質土」など、過去に支部が主催した講習会テキスト等の支部出版物の販売促進に努める。

東北支部：過去に支部が主催・作成したシンポジウムや研究委員会等の書籍について、その販売促進に努め、「知っておいてほしい 地盤のはなし」（Web 掲載無料資料）についても、広く周知を図る。

北陸支部：令和6年能登半島地震被害調査をもとに「液状化しやすさマップ新潟県版、富山県版、石川県版」の改訂を国土交通省北陸地整と協力しながら行う。流水客土技術関連資料集 DVD の拡販を引き続き行う。大学の先生方の講師によって実施された「土質力学講座5回シリーズ」の過去三年分の資料を印刷製本する。

関西支部：過去に関西支部が主催したシンポジウムや研究委員会等の資料、「土はおしゃべり」（書籍）等の支部発行物の販売促進を図る。

中国支部：支部独自の論文報告集「地盤と建設」を刊行する。

四国支部：過去に出版したものも含め、四国支部が主催するシンポジウムや研究委員会等の書籍について、その販売促進に努める。

九州支部：過去に九州支部が主催・作成したシンポジウムや研究委員会等の書籍について、その販売促進に努める。

2. 調査・研究事業【公2】

総務部：広域災害発生時に災害連絡会議を通じて調査団派遣に関する調整を行う。調査研究部と連携して災害報告会を実施する。公益出版部と連携して、調査団報告書をもとにした逐次刊行物（J-STAGE で公開）を刊行する。

調査・研究部：地盤工学研究発表会・地盤工学シンポジウム・環境地盤工学シンポジウムを企画・開催し、参加者間の活発な討議や有用な情報交換の提供などを通して学会全体の活動の活性化を図り、地盤工学の発展を推進する。成果の最大化を目指した研究委員会の運営を行い、地盤工学の発展と社会への貢献を推進する。電子図書室のコンテンツの充実により、会員への調査・研究活動の促進に努める。

基準部：地盤工学に関する規格・基準、および表記法等の制定、管理と、これらに関する図書の編集、出版に継続して取り組む。これまで取り組んできた「地盤調査の方法と解説」（青本）の改訂版を発刊する。また、新規制定基準のダウンロード販売を、既存基準に対しても実施できるように、継続してその手法および整備を進める。各種基準等の今後の方向性について議論し、部会で確認していく。

北海道支部：技術報告会を対面形式（札幌予定）で実施し、投稿論文を「地盤工学会北海道支部技術報告集第 66 号」として刊行する。研究委員会（積雪寒冷地における土構造物の設計と施工に関する研究委員会）を継続する。支部創立 70 周年記念事業の実行委員会を立ち上げ、実施に向けた準備を進める。

東北支部：例年実施している講演会、地盤工学セミナー、地盤工学フォーラム、現場見学会および地盤データベース活用における事業を実施のため予算化。また、地盤工学講座を休止し、新規事業として技術研究交流会、支部設立 70 周年の節目にあたり 70 周年事業（式典等）を計画した。なお、災害調査協定など県の機関との協力関係も強固にする。これらの行事や事業により産官学間や異業種間の様々な交流を促進する。

北陸支部：新規に民間の技術者を対象に中堅技術者交流セミナーをむこう 5 年間継続して行い、地盤工学の担い手を育成する。引き続き若手、学生会員による支部研究発表会、講習会、講演会、コロキウム、実務者報告会、現場見学会など実施する。

関東支部：令和 7 年度は対面形式を主に、適宜ハイブリッド形式やオンライン形式でも対応可能な各種講演会を企画、実施し、柔軟に対応する。第 22 回関東支部発表会（GeoKanto2025）は、昨年に引き続き、国立オリンピック記念青少年総合センターで対面開催予定である。昨年開催の 20 周年記念事業「動画コンテスト」は昨年に引き続き、今年度も継続して行い、表彰も行う。世代間の交流を目的として若手を対象とした「ソイルストラクチャーコンテスト」や「若手技術者交流セミナー」、歩きながら見て・知って・学ぶ「ジオ散歩」は対面開催を予定している。オンラインでも好評であった「～昭和・平成を駆け抜けたベテランが令和に語り継ぐ～ジオテク語りべ会」を今年度も開催する。各県グループの特色を生

かした見学会や会員向けの特別講演会も開催する。研究委員会成果普及活動のシンポジウムも計画中である。また、特別会員、中学・高校等を対象とした出前講座を実施し、会員等が抱える課題や関心などのニーズに即したサービスの提供を行う。

中部支部：第34回調査・設計・施工技術報告会、第37回中部地盤工学シンポジウムを開催し、技術者および研究者の地盤工学に関する情報交換の機会を設ける。また、若手技術者を対象とした見学会について、引き続き見学会運営委員会と若手技術者部会が連携して企画・実施し、地盤工学への関心度を向上させる活動を進める。さらに、シニア活性化委員会によってシニア会員向けの懇話会・見学会等を企画し、シニア世代による学会活動への継続的参画を図る。加えて、シニア活性化委員会と若手技術者の会との連携を図り、次世代への技術伝承に繋がる活動を推進する。最新名古屋地盤図(追補版)の販売に努める。その他、令和8年度に担当する第61回地盤工学研究発表会の実施に向けた「研究発表会準備委員会」を設置し、諸準備を始める。

関西支部：「Kansai Geo-Symposium 2025 ー地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウムー」、「若手セミナー ～私と地盤とのかかわり～」、「特別講演会」や見学会等の各種行事を、会員のニーズに合わせて開催する。また、滋賀・福井の2地域の「地域地盤研究会」、2024年度で終了した「夢洲の地盤性状と沈下性状に関する研究委員会」および「斜面災害リスク軽減のための4D多層型ハザードマップの構築とその利活用方法に関する研究委員会」の2つの研究委員会の成果報告会を実施するとともに、「データ連携による（スマート）斜面防災DX：豪雨災害に対する防災の対応力の強化と被害軽減に関する調査研究委員会（2025年度～）」を通して活発な調査研究活動を実施する。また、3学協会との共催開催となる「令和7年度施工技術報告会」を実施し、会員や一般市民に対して広く地盤工学技術に関する啓発を進める。さらに、小・中・高校生を対象とした「出前講義」や学生を対象とした「見学会」、市民を対象とした「市民特別講演会」や「ふるさと地盤診断ウォーク」を開催し、広く一般市民の公益に資する活動を行う。

中国支部：中国地域の技術者および研究者の地盤工学に関する情報交換の場となる「地盤工学セミナー報告会」を対面形式にて開催する。また、オンラインを活用して、「講演会」、「工事報告会」などの定例行事を開催する。

四国支部：技術研究発表会やシンポジウムなどを開催して地盤工学に関する情報交換の機会を設けることで、支部活動の一層の活性化と学会活動の認知度向上に努める。

また、令和6年度に立ち上げた「地盤の動的特性の調査・分析に関する調査研究委員会」、並びに「大雨に伴う斜面災害に関する調査研究委員会」において、地盤研究や防災技術の普及・向上に向けて、調査・研究活動を実施する。

さらに、四国4県の若手技術者の学会運営への参画促進や支部事務局業務の効率化の推進により、事業の活性化を図る。

九州支部：九州地盤情報システム協議会において、「九州地盤情報データベース（第3版）」の販売促進を図るとともに、第4版のデータベース形式を、従前のDVD形式とするか、オンライン形式（方式）へ移行するかについて協議・検討する。

3. 技術推進事業【公3】

総務部：広報・DX推進室においては、学会業務のDXを事業企画戦略室とともに強力に推進する。広報関係の活動は、①タイムリーかつ効果的な情報発信、②社会における地盤工学・地盤技術者の認知・理解向上のための活動、③災害調査活動の情報発信、④学会の国際情報発信の4つを柱とする。①および②については、各部、各委員会、および支部と連携し、ホームページ、メールニュース、フェイスブック、プレスリリースなどを駆使し、地盤工学会の活動とその成果を情報発信し、地盤工学・地盤技術者の役割を広く社会に認知・理解してもらうための活動を行う。また、事業活動の横断的な情報発信に取り組む。③については、災害関連委員会も立ち上がり、災害調査活動の結果及びデータを一般市民・学会員へ迅速に情報が伝達できるように、ホームページの更新、データの共有、フェイスブック等を通して情報発信を行う。④については、会員システムに関する和文ホームページの更新とともに、英文ホームページの充実を図る。

事業企画戦略室：「学会運営・管理」、「学術情報活用」に大分化しアクションプランにまとめた学会DX化の取り組みを推進する。「学会運営・管理」関連では、会員システムの入替えと学会内手続きの効率化効果等について、WGを立ち上げて討議する。「学術情報活用」については学会誌、地盤工学ジャーナル、Soils and Foundationsでの取り組みを先行して具体化・推進にあたる。

会員・支部部：会員の学会活動への積極的参加を促し、技術の伝承と人材育成に資する活動を、継続的かつ確実に実施する。具体的には、定期的な講習会の開催、CPDポイント獲得に関わる他学会との調整や効率的運用の検討、並びに多様な人材の活躍を後押しする施策として、会員同士が意見や情報を自由に交換、議論できる場を提供する。また地盤品質判定士会との連携については、判定士が活躍できる場の拡大や、有資格者の継続的な教育体制の構築を目指す。なお、学会を取り巻く状況の変化や中長期ビジョンを踏まえ、業務効率化、会員制度の見直しや再構築、若手会員の定着と意欲向上に繋がる施策、並びに本部と支部の連携や連絡体制の在り方等の課題を、部内WGで議論、検討する。

国際部：国際地盤工学会との連携および各種国際交流活動の推進を継続し、地盤工学を通して国際貢献を行う。第21回国際地盤工学会議の論文審査、Geotech Asia2025への参加者支援、国際地盤工学会の技術委員会（TC、ATC）およびそれに関わる国内行事やYoung Member Presidential Group活動へのサ

ポート等を行うとともに、地盤工学の新たな分野を開拓するための国際行事の企画を行う。以上を通して、学会ならびに会員の国際化・国際力強化に資する活動を行う。

北海道支部：支部主催講習会、若手技術者を対象としたセミナーや勉強会を開催する。他学協会との協賛行事に積極的に取り組み、学会の啓蒙を図る。5 学会連絡会（地盤工学会、土木学会、日本地すべり学会、砂防学会、農業農村工学会の各学会の北海道支部で構成）に基づいた連携による災害調査活動およびその他の活動の活発化を図る。支部ホームページや SNS を利用した広報活動を積極的に行い、支部将来構想検討委員会での議論を踏まえて、会員サービスの充実、支部活動の活性化に努める。

東北支部：土質力学遠隔授業を実施する。また、他学協会との協賛（共催）行事にも積極的に取り組むことと女性の会員の活動を活性化のため予算化、また 広報活動を積極的に行い、会員サービスの充実を図る。

北陸支部：例年に引き続き災害協定に基づき自治体職員に対する研修会を開催する。だれでも参加できる土質力学講座をシリーズ形式で実施する。セミナー、現場技術者のための講習会、実務者報告会をなるべく対面で実施し、建設コンサルタンツ協会など関連学会協との連携を強化し、支部活動の活性化と新規会員の獲得を目指す。

関東支部：研究委員会活動と県グループ活動等とのタイアップによる講習会の開催、他学会とのシンポジウム共催など各地の官公庁・公的機関や地盤関連の各種法人・団体との連携を図り、成果の普及や学術振興の機会を幅広く設けた活動を行う。

中部支部：技術者や研究者を主対象に各種セミナーを開催する。引き続き、他学協会との連携開催による技術者・研究者交流を推進するほか、地盤工学セミナーにおいては、学び直しや若手の技術力向上のための講座を計画する。これらは遠方からの参加を容易にするためにオンラインと対面のハイブリッド開催を推進していく。地盤調査ボーリング作業、物理探査～室内土質試験講習会を継続開催する。併せて会員サービスの充実（セミナーなど特別会員同行者無料等）を図る。その他、学校や企業等からの依頼に基づき出前講義を開催する。

関西支部：会員や一般市民のニーズにあわせた講習会・講演会として、「技術講習会」、「実技セミナー」を実施し、会員サービスの充実を図る。支部ホームページや SNS を利用した広報活動を積極的に行い、支部活動の活性化に努める。

中国支部：講習会の実施形式は、対面やオンラインなど地域のニーズに沿った形で計画し、会員サービスの充実にも努める。

四国支部：地盤や防災に関する講習会など、会員のニーズを反映した行事を企画・運営することにより、会員サービスの充実を図る。また、本部との連携を図りながら、地方講演会を開催する。

九州支部：実務に役立つことを目指した講習会の開催を始め、特別講演会、オンラインセミナー、地区活動、見学会、他学会、協会との協賛行事等を全8地区で取り組んでいく。

4. 表彰関連事業【公4】

総務部：地盤工学の発展に長年にわたり多大な貢献をされた会員を名誉会員として推薦する。また、新分野に関する研究推進・技術開発を促進する賞の募集を行う。さらに、地盤工学学会賞を受賞した研究・技術の国等の表彰制度への推薦を強化する。

北海道支部：例年どおり支部賞および支部賞学生部門の表彰を行う。支部発行「技術報告集」から新進者を対象に選定し、地盤工学に関する学術および技術の進歩発展を奨励する。また、実績のあるエキスパートによる特に優れた技術報告に対し、支部特別表彰を行う。

東北支部：支部表彰を例年どおり行う。支部表彰（技術的業績部門）は、地盤工学フォーラムにおいて応募者によるプレゼンテーションを実施する。また、支部表彰（貢献的業績部門）においても公募を行い、業績内容を広く会員に公開する。

北陸支部：支部賞として、論文部門研究功績賞、論文部門研究奨励賞、技術部門技術賞、企画部門企画賞、功績部門功績賞の募集を行い優れた活動・業績を表彰する。

関東支部：関東支部賞（技術賞、功績賞）の表彰を行う。また、支部発表会において優秀発表者の表彰も行う。

中部支部：個人、団体の学会活動や業績に十分配慮し、支部活動の一層の活性化へ繋がるよう、中部支部賞（研究奨励賞、技術賞、功績賞）の表彰を行う。

関西支部：支部会員の地盤工学に関する学術・技術の向上・普及に資する優れた活動や社会に貢献を行った活動に対し「学術賞」、「学術奨励賞」、「地盤技術賞」、「社会貢献賞」の各支部表彰を行う。

中国支部：「地盤と建設」論文賞、「地盤と建設」論文奨励賞、「地盤工学セミナー」報告賞、技術賞の支部表彰を行う。

四国支部：地盤工学の学術並びに技術の発展と学会支部活動の活性化に寄与した優れた業績を表彰するために、四国支部賞（技術賞、技術開発賞、研究・論文賞、および功績賞）として表彰する。また、技術研究発表会において、特に優秀な若手技術者を「優秀発表者」として表彰する。

九州支部：九州支部技術賞（団体の部・個人の部）、九州支部貢献賞、優良学生賞の表彰を行う。

1. 公益出版事業【公1】

(1) 学会誌「地盤工学会誌」の発行

担当部	誌 名	年発行回数	編 集 方 針
【公益出版部】	「地盤工学会誌」	12回(月刊)	夢洲 建設プロジェクト(仮題)【4月号】／応用地質学と地盤工学の協働【5月号】／土の構成モデル(仮題)【6月号】／特殊な条件下のシールドトンネル工事(仮題)【7月号】／トンネルの耐震設計・施工事例(仮題)【8月号】／地盤環境・エネルギー開発・資源開発【9月号】／法令・コンプライアンス・技術者倫理【10月号】／地盤工学研究発表会【11月号】／その他(他分野、支部、委員会など)【12月号】／調査技術・実験法【1月号】／地盤の工学的問題の解析【2月号】／地盤防災【3月号】(いずれも予定)

(2) 公益出版(論文集・刊行物)

1) 「地盤工学会災害調査論文報告集」、「Soils and Foundations」、「地盤工学ジャーナル」

担当部	誌 名	年発行回数	編 集 方 針
【総務部】	「地盤工学会災害調査論文報告集」	1-2回(不定期)	最近発生した地盤災害の調査報告ならびに過去に発生した地盤にまつわる災害事象の総括報告などの特集を中心に、不定期に発行する。
【公益出版部】	「Soils and Foundations」	6回(隔月刊)	質の高い論文を迅速に発刊するとともに、特集号、災害調査報告、先進的な国内技術情報の掲載を通して学会の国際情報発信と学術の発展に寄与する。
	「地盤工学ジャーナル」	4回(季刊)	実務と現場に直結した情報を速報性を確保して掲載(電子配信・邦文主体)

2) 学術図書等(新刊)

担当部	出版期日	書 名
【公益出版部】	8.3	シールド工法(改訂版)
【調査・研究部】	5月予定	第60回地盤工学研究発表会発表講演集
	9月予定	第16回環境地盤工学シンポジウム論文集
計 3 点		

2. 調査研究・基準事業【公2】

(1) 研究発表会、シンポジウム、講演会等

担当部	開催期日	名 称	開催場所
【調査・研究部】	7.7.22-25	第60回地盤工学研究発表会	山口県下関市
	7.9.25-26	第16回環境地盤工学シンポジウム	富山県富山市
計 2 回			

(2) 見学会等(会員および一般市民向け活動)

(3) 各種研究委員会、災害調査委員会

1) 研究・調査委員会等

担当部	委 員 会 名	備 考
【調査・研究部】	〔研究委員会〕	2023年度に総務部から移管
	地球環境問題の解決に向けた環境地盤工学分野の新たな展開に関する研究委員会	
	災害調査データの収集と活用委員会	
	極端降雨・巨大地震に対応した斜面防災対策研究委員会	
	地盤工学におけるデジタルセンシング技術とその評価技術及び活用方法に関する研究委員会	
	洋上風力発電施設に係る地盤工学技術の現状と将来のあり方に関する研究委員会	
	データ駆動地盤工学の新分野を開拓する研究委員会	
計 7 件		

(4) 試験法・調査法の基準制定、ISOへの対応

担当部	基 準 名 等	備 考
【基準部】	〔新規制定地盤工学会基準〕	
	地盤材料試験関係、地盤調査関係、地盤設計施工関係および表記法関係の新規・改正基準	
	〔ISO対応〕	
	ISO/TC182（Geotechnics，地盤工学），TC190（Soil quality，地盤環境），TC221（Geosynthetics，ジオシンセティックス）における制定と見直し（改正、廃止、確認等）に関する審議	
計 2 件		

(5) 受託研究・技術指導

担当部	委 員 会 名	備 考
【総務部】	新潟市液状化対策技術検討委員会	
【基準部】	ISO国内委員会 TC182国内専門委員会 広域地盤特性評価WG(表面波探査に関する国際標準化)	

計 2 件

3. 技術推進事業【公3】

(1) 継続教育（講習会、system構築・記録管理・証明）

1) 講習会の開催

担当部	開催期日	名 称	開催場所
【会員・支部部】	5月予定	はじめてまなぶFEM講習会	東京及びオンライン
	6月予定	フレッシュャーズのための『続・土質力学』講習会	東京及びオンライン
	6月予定	圧密に関する基礎知識とその応用講習会	東京及びオンライン
	6月予定	地下水調査に用いる井戸理論式の整理及び解説に関する講習会	東京及びオンライン
	7月予定	土砂災害に関する技術講習会	東京及びオンライン
	7月予定	現場における地盤調査法の基本講習会	東京及びオンライン
	8月-9月予定	わかりやすい地盤工学基礎シリーズ講習会（3日間）	東京及びオンライン
	8月予定	わかってつかうFEM講習会（2日間）	東京及びオンライン
	10月予定	液状化解析の専門技術講習会	東京及びオンライン
	10月予定	山留め・土留めの設計講習会	東京及びオンライン
	11月予定	第1回宅地地盤の評価に関する最近の知見講習会	東京及びオンライン
	11月予定	河川堤防の調査・検討・維持管理講習会(2日間)	東京及びオンライン
	12月予定	液状化に関する各種基準・指針の現状の講習会	東京及びオンライン
	12月予定	実務者のための土と基礎の設計計算演習講習会（構造物基礎編）	東京及びオンライン
	1月予定	第2回宅地地盤の評価に関する最近の知見講習会	東京及びオンライン
	1月・2月予定	盛土構造物に関する講習会（2日間）	東京及びオンライン
	2月予定	実務者のための土と基礎の設計計算演習講習会（軟弱地盤・耐震・液状化、山留め・斜面安定解析編）（2日間）	東京及びオンライン
	2月予定	交通地盤工学入門 講習会（仮題）	東京及びオンライン
	3月予定	基礎の支持力と変形入門講習会	東京及びオンライン
計 19 回			

2) 継続教育システム構築、記録管理、証明

(2) 国際交流、国際的学術・技術交流

1) 国際会議・シンポジウム

担当部	開催期日	活 動 項 目	開催場所
【国際部】	7. 6. 14-19	第21回国際地盤工学会議 The 21th International Conference on Soil Mechanics Geotechnical Engineering (21ICSMGE)	ウィーン、オーストリア
	7. 10. 7-10	Geotech Asia 2025	ゴア州、インド
計 2 件			

2) 国際講演会等の開催

担当部	開催期日	活 動 項 目	開催場所
【国際部】	未定	国際講演会	未定
計 1 件			

3) 国際関係委員会等

担当部	委 員 会 名	備 考
【国際部】	[TC101] Laboratory Testing (Laboratory Stress Strain Strength Testing of Geomaterials) 国内委員会	
	[TC103] Numerical Methods in Geomechanics 国内委員会	
	[TC105] Geo-Mechanics (Geo-Mechanics from Micro to Macro) 国内委員会	
	[TC202] Transportation (Transportation Geotechnics) 国内委員会	
	[TC221] Tailings and Mine Waste 国内委員会	
	[TC302] TCommittee on Observational Method 国内委員会	
	[ATC1] Geotechnical Mitigation and Adaptation to Climate Change-induced Geo-disasters in Asia -Pacific Regions 国内委員会	
	[ATC3] Geotechnology for Natural Hazards 国内委員会	
	[ATC10] Urban Geo-informatics 国内委員会	
	[ATC19] Geo-engineering for Conservation of Heritage Monuments and Historical Sites 国内委員会	
計 10 件		

4. 表彰関連事業〔公4〕

(1) 表彰

- 1) 学会賞の募集、審査、表彰
- 2) 功労章の募集、審査、表彰
- 3) 名誉会員の推挙
- 4) 貢献賞の授与
- 5) 特別会員表彰、学会誌優秀賞、地盤工学研究発表会優秀論文発表者賞等の授与、
永年にわたる正会員への感謝状贈呈
- 6) 支部表彰ほか

5. 運営関係委員会等

担当部	委 員 会 等	備 考
【総務部】	第67回通常総会 理事会 正副会長会議 選挙管理委員会 表彰委員会 災害連絡会議 広報・DX推進室 総務部会 新潟市液化化対策技術検討委員会	
【事業企画戦略室】	事業企画戦略室会議	
【会員・支部部】	会員・支部部会 本部支部連絡協議会 技術普及委員会 継続教育システム委員会 男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会	
【国際部】	国際部会	
【公益出版部】	公益出版部会 出版事業グループ 「地盤工学会誌」編集委員会 「Soils and Foundations」編集委員会 「地盤工学ジャーナル」編集委員会 地盤工学・実務シリーズ「シールド工法(改訂版)」編集委員会	
【調査・研究部】	調査・研究部会 研究・連携・情報委員会 研究発表会委員会 地盤環境企画委員会 岩盤工学企画委員会 第60回地盤工学研究発表会実行委員会 第61回地盤工学研究発表会実行委員会	
【基準部】	基準部会 ISO国内委員会 地盤工学表記法委員会 室内試験規格・基準委員会 地盤調査規格・基準委員会 地盤設計・施工基準委員会	
計 35 件		

6. 支部活動（支部事業計画）

（事業区分）		【北海道支部】	
〔共通〕	1. 総会、役員会等	①総 会 ②商議員会 ③幹事会	4/21 4月、2月、その他適宜メール審議実施 適宜開催、各グループ 毎では随時開催
〔公2〕 〔公4〕 〔共通〕	2. 委員会の活動	①支部表彰委員会 ②地盤災害緊急対応委員会 ③積雪寒冷地における土構造物の設計と施工に関する研究委員会 ④支部将来構想検討委員会 ⑤支部創立70周年記念事業実行委員会	適宜 適宜 適宜 適宜 適宜
〔公2〕	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	①技術報告会	札幌市(1月予定)
〔公2〕 〔公3〕 講演会 講習会	4. 講演会、講習会等	4.1 講演会 ①本部会員支部部地方公演会 4.2 講習会 ①支部主催参集型講習会(状況に応じてオンライン・ハイブリッド形式) 4.3 セミナー 4.4 若手勉強会	札幌市 対面開催(8～9月予定) 1回程度(11～12月予定) 札幌市他 3回程度(6, 9, 11月を予定) 札幌市 2回程度 時期未定
〔公3〕	5. 国際活動	—	
〔公1〕	6. 新刊発行予定		
〔公4〕	7. 表彰	①支部賞(支部賞、支部賞(学生部門)、支部特別表彰)	
〔共通〕	8. その他	広報活動 ・北海道支部ホームページの管理 ・SNS (Facebook) を使った広報, 行事参加報告 ・技術報告集の広報用謹呈作業 ・技術報告集バックナンバーのWeb公開作業	

(事業区分)		【東北支部】	
〔共通〕	1. 総会、役員会等	①総 会 ②商議員会 ③幹事会	4/15 2回（第1回 4/15、第2回 2月） 幹事会 2回（第1回 6月 第2回 1月） 常任幹事会 3回（第1回 5月 第2回 11月 第3回 2月）
〔公2〕 〔公4〕 〔共通〕	2. 委員会の活動	①地盤研究委員会 ②東北地域地盤災害研究委員会 ②-1地盤データベース利活用小委員会 地盤データベース利活用 ②-2地盤リスク検討小委員会 ③地震時における地盤の大変形・崩壊挙動の解析技術に関する研究委員会 ④資源循環研究委員会 ⑤渉外委員会 ⑥表彰委員会 ⑦広報委員会 ⑧支部活動活性化委員会	適宜 適宜 適宜 適宜 適宜 適宜 適宜 適宜 適宜
〔公2〕	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	①地盤工学セミナー ②地盤工学講座 ③地盤工学フォーラム	(6月) (休止) (1月)
〔公2〕 〔公3〕	4. 講演会、講習会等	①見学会 ②講習会 ③講演会 ④地域会 ⑤土質力学遠隔授業 ⑥技術研究交流会 ⑦支部設立70周年事業	(10月) (適宜) (4月・1月) (適宜) オンライン (7-9月) ハイブリッド (開催時期未定) 4/15
〔公3〕	5. 国際活動	—	
〔公1〕	6. 新刊発行予定	—	
〔公4〕	7. 表彰	①支部賞（審査のうえ表彰）	
〔共通〕	8. その他	①広報活動 ・支部HPの更新（随時） ・G-CPD普及活動（随時）	

〔事業区分〕		【北陸支部】	
〔共通〕	1. 総会、役員会等	①総 会 ②商議員会 ③幹事会	4月（富山市開催） 2回（2月、11月） 各県3回（5-6月）
〔公2〕 〔公4〕 〔共通〕	2. 委員会の活動	①北陸支部表彰委員会 ②ユースネットワーク委員会 ③中堅技術者交流セミナー実行委員会	適宜 適宜 適宜
〔公2〕	3. 研究発表会、 シンポジウム	①第90 回土質工学最新情報コロキウム ②石川地区実務者報告会 ③第91回土質工学最新情報コロキウム ④第28回地盤工学に関わる実務者報告会	石川地区（10月） 石川地区（12月） 富山地区（10月） 新潟地区（1月）
〔公2〕 〔公3〕	4. 講演会、 講習会等	①講演会 ②ジオテクセミナー ③ジオテクフォーラム ④見学会 ⑤第20回地盤調査法講習会 新潟市 ⑥土質力学講座シリーズ ⑦災害協定に基づく関係職員研修会 ⑧現場技術者のための土質力学：第12回 金沢市	（3回程度） （適宜） （適宜） （各県1回計3回） （10月） （10月から5回） 富山地区（8月） 石川地区（9月）
〔公3〕	5. 国際活動	—	
〔公1〕	6. 新刊発行予定	土質力学講座シリーズ	
〔公4〕	7. 表彰	①北陸支部賞（技術賞、技術開発賞、論文賞、功績賞）	
〔共通〕	8. その他	—	

(事業区分)		【関東支部】	
〔共通〕	1. 総会、役員会等	①総会 ②商議員会 ③幹事会	支部総会（4/22） 3回（10月、2月・4月は書面会議） 各グループ毎に適宜実施
	2. 委員会の活動	①運営委員会 ②表彰委員会 ③防災戦略の意思決定プロセスに資する総合的な自然災害安全性指標（GNS）実現に関する研研究委員会 ④地盤情報を活用した気候変動が地盤災害リスクに与える影響の研究委員会 ⑤既存地下構造物の耐衝撃性評価手法と地盤補強技術に関する検討委員会 ⑥1～2の新規委員会	年間4回 年間1回 適宜 適宜 適宜 適宜
〔公2〕	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	①GeoKanto2025（支部発表会） ②支部交流会	東京（11/6） 東京他（適宜）
〔公2〕 〔公3〕	4. 講演会、講習会等	4.1 講演会 ①講演会 ②特別講演会 ③ジオテク語りべ会 4.2 講習会 ①講習会 ②勉強会 ③セミナー 4.3 見学会 ①工事現場・研究所等見学会 ②ジオ散歩 4.4 その他 ①東京地区、支部間連携における行事企画（講演会、講習会など） ②事業実施機関等の特別会員に対する技術交流（意見交換を含む） ③学校および特別会員向け出張講座 ④ソイルストラクチャーコンテスト ⑤20周年記念動画コンテスト	東京他（適宜） 東京（適宜） 東京（適宜） 東京他（適宜） 東京他（適宜） 東京他（適宜） 東京他（適宜） 東京他（適宜） 東京他（適宜） 東京他（適宜） 場所：未定、時期：未定 東京（適宜） 随時 東京（適宜） 東京（適宜）
〔公3〕	5. 国際活動	①国際講演会	東京（適宜）
〔公1〕	6. 新刊発行予定	—	
〔公4〕	7. 表彰	①関東支部賞（技術賞、功績賞）の表彰 ②支部発表会優秀発表者賞の表彰	4月 11月
〔共通〕	8. その他	①Newsletter発行 ②関東支部ホームページ更新、メーリングリストによる行事案内等の発信 ③若手会員や特別会員拡充に関する検討 「若手技術者交流会」 ④国土交通省関東地方整備局と締結した「災害調査協定」の運用・整備 ⑤時事問題専門家意見表明サイト開設	2回（10月、3月） 随時 時期未定

(事業区分)		【中部支部】	
〔共通〕	1. 総会、役員会等	①総 会 ②商議員会 ③幹事会	4/25 3回 (4/25、10/10、1/16) 4回 (4/25、7/11、10/10、1/16)
〔公2〕 〔公4〕 〔共通〕	2. 委員会の活動	①企画委員会 ②運営委員会 ③地盤工学に関するセミナー運営委員会 (セミナー部会) ④調査・設計・施工技術報告会運営委員会 (技術報告会部会) ⑤中部地盤工学シンポジウム運営委員会 (シンポジウム部会) ⑥見学会運営委員会 (見学会部会) ⑦信州地盤環境委員会 (信州地盤部会) ⑧若手技術者の会 (若手技術者部会) ⑨中部支部災害緊急調査団 ⑩中部支部表彰委員会 ⑪シニア活性化委員会 (シニア部会) ⑫広報部会準備WG	
〔公2〕	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	①第34回調査・設計・施工技術報告会 (技術報告会部会) ②第37回中部地盤工学シンポジウム (シンポジウム部会)	(6/20) (8月予定)
〔公2〕 〔公3〕	4. 講演会、講習会等	①講演会 ②出前講義 (セミナー部会) ③地盤力学・工学講習会 (セミナー部会) ④講演会 (若手技術者部会) ⑤若手技術者交流会 (若手技術者部会) ⑥若手技術者見学会 (見学会部会) ⑦ジオテクセミナー (信州地盤部会) ⑧信州地盤環境委員会見学会 (信州地盤部会) ⑨信州地盤環境委員会講演会 (信州地盤部会) ⑩地盤調査ボーリン見学会～室内土質試験見学会 ⑪集中講座 (セミナー部会) ⑫地盤工学サロン (シニア部会) ⑬土質試験体験実習 (セミナー部会) ⑭研究委員会1件	(4/25) (随時開催) (時期未定) (時期未定) (時期未定) (時期未定) (時期未定) (時期未定) (時期未定) (時期未定) (時期未定) (時期未定 : 隔月 計6回開催予定) (時期未定) (時期未定) (時期未定)
〔公3〕	5. 国際活動	—	
〔公1〕	6. 新刊発行予定	—	
〔公4〕	7. 表彰	①中部支部賞 (研究奨励賞, 技術賞, 功績賞)	
〔共通〕	8. その他	—	

（事業区分）		【関西支部】	
〔共通〕	1. 総会、役員会等	①総会 ②商議員会 ③幹事会 ④支部活性化ワーキング ⑤顧問会 ⑥合同委員会（各委員会委員長との意見交換） ⑦代議員懇談会（支部代表の代議員との意見交換）	(4/24) 年間2回 年間4回 年間4回 年間1回 年間2回 年間1回
	2. 委員会の活動	①福井地域地盤研究会 ②和歌山地域地盤研究会 ③滋賀地域地盤研究会 ④データ連携による（スマート）斜面防災DX：豪雨災害に対する防災の対応力の強化と被害軽減に関する調査研究委員会 ⑤表彰委員会	年間3回 随時開催 年間3回 適宜 委員会・選考会 年間1回
	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	①Kansai Geo-Symposium 2025 ②令和7年度施工技術報告会	(11/5) 4学協会共催・後援（2月）
	4. 講演会、講習会等	4. 1 講演会 ①総会時特別講演会 ②市民特別講演会 4. 2 見学会 ①現場見学会 ②ふるさと地盤診断ウォーク ③学生対象見学会 4. 3 講習会 ①「技術講習会」 4. 4 実技セミナー ①第67回実技セミナー 4. 5 若手セミナー ①「若手セミナー～私と地盤とのかかわり～」 4. 6 その他 ①出前授業	支部総会時（4/24） （4月） （9月～10月頃） （10・11月） （随時開催） （10月頃） （6月） （11月頃） （随時開催）
	5. 国際活動	—	
	6. 新刊発行予定	—	
	7. 表彰	①関西支部賞（学術賞、学術奨励賞、地盤技術賞、社会貢献賞）の表彰	次年度支部総会時
〔共通〕	8. その他	①関西支部ホームページ更新、SNS・メーリングリストによる行事案内等の発信 ②会員へのサービスの充実	随時

(事業区分)		【中国支部】	
〔共通〕	1. 総会、役員会等	①総 会 ②商議員会 ③幹事会	4/23 4月、1月 4/23、10月、1月、地域幹事会随時
〔公3〕 〔公4〕	2. 委員会の活動	①論文報告集「地盤と建設」編集委員会 ②国際委員会 ③表彰委員会	
〔公2〕	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	①工事報告会*土木学会と共催 ②地盤工学セミナー報告会	山口（時期未定） 岡山（7/12）
〔公2〕 〔公3〕	4. 講演会、講習会等	①講演会 ②講習会 ③講習会 ④講習会 ⑤講習会 ⑥講習会	オンライン（時期未定） 鳥取（6月頃） 広島（9月頃） 松江（9月頃） 岡山（10月頃） 山口（時期未定）
〔公3〕	5. 国際活動	①国際活動支援事業	（詳細未定）
〔公1〕	6. 新刊発行予定	①論文報告集「地盤と建設」＜第43巻第1号＞	
〔公4〕	7. 表彰	①地盤工学セミナー報告賞 ②「地盤と建設」論文賞 ③「地盤と建設」論文奨励賞 ④技術賞	
〔共通〕	8. その他	—	

(事業区分)		【四国支部】	
〔共通〕	1. 総会、役員会等	①総 会 ②商議員会 ③幹事会	高松市（4月） Web会議，年2回程度（4・2月） Web会議，年3回程度（4・7・2月）
〔公2〕 〔公4〕	2. 委員会の活動	①地盤の動的特性の調査・分析に関する調査研究委員会 ①-1 定例委員会 ①-2 令和6年能登半島地震における液状化被害調査（地盤調査） ②大雨に伴う斜面災害に関する調査研究委員会 ③論文審査委員会 ④表彰委員会 ⑤各県（徳島・香川・高知・愛媛）地盤工学研究会	愛媛、高知、徳島（年3回程度） 石川県珠洲市他（第1四半期） 年3回程度（8・3月） 年1回 年1回 各県年数回程度
〔公2〕	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	①技術研究発表会 ②地盤と防災・環境に関するシンポジウム	高知県（12月（予定）） 徳島県（9月（予定））
〔公2〕 〔公3〕	4. 講演会、講習会等	①学術講演会 ②技術講習会 ③現地見学会 ④愛媛県地盤工学研究会講演会 ⑤高知県地盤工学研究会講演会 ⑥香川県地盤工学研究会講演会 ⑦徳島県地盤工学研究会講演会 ⑧本部派遣地方講演会	未定 香川県（時期未定） 高知県（時期未定） 松山市（時期未定・年3回程度） 高知市（時期未定） 高松市（時期未定） 徳島市（時期未定） 高松市（時期未定）
〔公3〕	5. 国際活動	—	
〔公1〕	6. 新刊発行予定	—	
〔公4〕	7. 表彰	①技術研究発表会優秀発表者賞 ②四国支部賞	
〔共通〕	8. その他	—	

令和7年度 事業計画（案）

（事業区分）		【九州支部】
〔共通〕	1. 総会、役員会等	①総 会 福岡市(4月) ②商議員会 12月・3月 ③幹事会 1回程度 ④顧問会 4月
〔公2〕 〔公4〕 〔共通〕	2. 委員会の活動	①総務企画委員会 ②事業推進委員会 ③広報委員会 適宜開催（メール審議） 九州建設技術フォーラムのブース管理、九州支部HPの更新、九州支部広報の充実化 ④国際委員会 委員会（3回）、ジオテクミーティング（1回） 若手セミナー（1回） ⑤研究委員会 「九州・沖縄の地盤」執筆委員会 福岡市（6回程度） ⑥表彰委員会 表彰:福岡市(12・2月) ⑦九州地盤情報システム協議会 企画部会（1回）、幹事会（2回）、協議会（1回） ⑧会員増加推進委員会
〔公2〕	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	—
〔公2〕 〔公3〕	4. 講演会、講習会等	①「技術士養成塾」 ガイダンス オンライン（4月上旬） 受験申込書・筆記試験添削講座 通信添削（4月中旬～7月上旬） 模擬面接講座 福岡市及びオンライン（11月下旬） ②講習会 ・講習会（対面で実施） 福岡市（1回） ③特別講演会 福岡市（12月頃） ④各地区勉強会・講習会等多数 九州各地区 ・定例セミナー「ジオテクセミナー」／現場見学会 北九州（6回程度） ・定例勉強会「ジオラボ」／現場見学会 長崎(2月を除く偶数月) ・定例「土の勉強会」 鹿児島（2ヶ月に1回奇数月） ・地盤工学セミナー 佐賀(2回) ・地盤の勉強会 熊本（1回程度） ・定例セミナー「ジオテクセミナー」／技術講演会 大分(4回程度) ・地盤の勉強会/地盤災害に関するシンポジウム 宮崎（3回程度） ⑤見学会 北九州（10-11月）長崎（10月） ⑥九州地盤研究会 九重町（11月頃）
〔公3〕	5. 国際活動	若手セミナー、ジオテクミーティング
〔公1〕	6. 新刊発行予定	—
〔公4〕	7. 表彰	①令和7年度九州支部技術賞(団体の部・個人の部)の募集を行い、審査のうえ表彰する ②令和7年度九州支部貢献賞の募集を行い審査のうえ表彰する ③令和7年度九州支部優良学生賞を審査のうえ表彰する
〔共通〕	8. その他	—